

土曜授業の充実に向けて

<事例集>

～学校、家庭、地域が連携・協働した取組をとあして～



本事例集は、土曜授業を実践する学校において、効果的なカリキュラムが編成・実施されるよう、基本的な考え方や参考となる具体的な実践等を取りまとめたものです。

平成29年3月

熊本県教育委員会

はじめに

これからの子どもたちには、厳しい挑戦の時代を乗り越え、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められています。子どもたちの「生きる力」は、学校だけで育まれるものではなく、家庭における教育はもちろんのこと、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであり、地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりをとおして育まれます。そのためにも、学校、家庭、地域の連携・協働が不可欠です。

本県では、熊本県教育振興基本計画「第2期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」に基づき、地域の方が学習活動、体験活動、学校運営などさまざまな形で学校に関り、地域で学校を支える仕組みづくりを進めています。その中の施策の一つとして、地域と連携・協働した土曜授業の推進に取り組んでいます。

これまで県教育委員会では、平成25年1月に「小中学校における土曜日の授業の実施に係る基本的な考え等について（通知）」、平成27年2月に「小中学校における土曜授業の一層の充実に向けて（通知）」を示すとともに、職員の週休日の振替について、関係規則等の一部改正を行うなど、土曜授業に取り組みやすい環境づくりに努めてきたところです。

また、平成25年11月に学校教育法施行規則の一部が改正され、公立学校において、当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会の判断により、土曜日等に授業を実施することが可能であることが明確化されました。

土曜日等において、子どもたちに、これまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えることは重要であり、そのため、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、学校や地域における多様な学習や体験活動等の機会の充実に取り組むことが期待されています。

本事例集は、平成27年度からの「熊本県土曜授業推進事業」における土曜授業実践校として指定された3市町村4校の実践を掲載したものです。本県が通知により示した内容例（「家庭・地域との連携による授業や学校行事」、「保護者や地域住民等への公開授業」、「通常の教科等の授業」）に沿った事例を紹介しています。市町村教育委員会や各小中学校におかれましては、本事例集や平成27年度に作成したリーフレット「土曜授業の実施に向けて」を参考にしつつ、それぞれの地域や学校の特色や実情に応じた土曜授業に取り組んでいただくことを期待します。

最後に、本事業の推進において、御指導・御助言をいただきました土曜授業カリキュラム等検討委員の皆様をはじめ、関係市町村教育委員会及び土曜授業実践校の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成29年3月

熊本県教育委員会

目 次

はじめに

1	土曜授業における教育活動の理念	1
2	土曜日の教育活動の分類	
3	これまでの経緯（通知等）	2
4	熊本県土曜授業実施状況調査	3
5	熊本県土曜授業推進事業	5
※	熊本県土曜授業カリキュラム等検討委員会からの提言	6
■実践事例		
	・ 菊池市立菊池北小学校	8
	・ 阿蘇市立内牧小学校	16
	・ 産山村立産山小・中学校	24

实践事例

お問合せ先

熊本県教育庁教育指導局義務教育課

〒862-8603 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL 096-333-2688 FAX 096-385-6718

<http://kyouiku.higo.ed.jp/>